

安行東中学校の道徳の授業

- (1) 「考え、議論する道徳」を推進する
子どもが常に自己の生き方を見つめながら、みんなで多様な視点から話し合い、語り合うことを通して自己のよりよい生き方を考えていくことを重視した学習。
- (2) 「問題解決的な道徳の学習」を推進する
道徳的な問題を多角的に考え、児童生徒一人一人が生きるうえで出会うであろうさまざまな問題や課題に対して、主体的に取り組む学習。
- (3) 「体験的な道徳学習」を推進する
「役割演技」などの体験的な行為や活動を通じて、実感的に道徳的価値の意義や意味などについて、考えを深める学習。

道徳の授業に対する心構え
聞き方のルール
話し合いのルール

道徳の授業に対する心構え

- ◎登場人物の気持ちになって考える。
- ◎自分だったらどうするかを考える。
- ◎友達の見解をよく聞く。
- ◎人はみんな違うのだから意見が違うのは当たり前。
- ◎道徳の授業の答えは一つだけではない。
- ◎自分の考えをみんなに聞いてもらうことが大切。
- ◎意見を述べて発言する。
- ◎友達の見解を聞いて、自分の考えと比べてみる。
- ◎その結果、自分の考えが変わることももちろんある。

あいづち
いいい
の 身をのりだす
ぞうでずね
なるほど
たしかに
さすがです

話し合いのルール

- ◎自分の意見は理由をつけて話す。
- ◎自分の立場を明確にする。
- ◎友達の見解に賛成か反対かの態度を表明する。
- ◎その際、理由を話す。
- ◎友達の話や理由が納得できたらその意見を認める。
- ◎意見が違っていてもいい。
- ◎ただしその理由を話す。
- ◎友達が意見を言うことをじゃましてはならない。

体験的な活動（役割演技）



毎時間と学期末に振り返りを行い、自分の生き方を見つめ直します。



ネームプレートやホワイトボードを使用した考えの可視化

道徳コーナー

座替え 自分だけが正しいか？

その人をもっと知っていること 道徳（1年4組）

道徳コーナー

各クラス前の廊下に道徳コーナーを設置。クラスを超えた交流。